

項目	取組状況
<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成 29 年度担当科目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>環境デザイン論 (5C), 環境デザイン実習 (5C), 都市地域計画 (専攻科 1 年), 総合工学実験実習 I (1 年), 基礎工学演習 IC/IIC (2 年), 卒業研究 (5C), 基礎研究 (4C), 工学特別研究 (専攻科 2 年), 工学特別ゼミナール I (専攻科 1 年)</li> </ul> </li> <li>◆ 担当科目の取組状況 (工夫・改善した点)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・本科 1 年から専攻科まで多岐に渡る学年の講義を担当しているため, 学年に適した内容とその連続性を重視した。例えば 1 年総合工学実験実習 I では工学の世界に興味を持たせるように, 2 年基礎工学演習では土木・建築業界のしくみと関係する科目ならびに科目体系が理解できるように, 5 年環境デザイン実習では 3~4 年の座学科目で学んだ知識を設計に活用できるようにした。</li> </ul> </li> <li>◆ 特記すべき教育方法の実践例                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境デザイン論において前半 45 分を講義, 後半 45 分を演習というスタイルにより多くの課題を与え, 知識を得るだけでなく, より実践的なデザイン能力が身に付くようにした。</li> <li>・2 ヶ月に一度開催される日本写真測量学会関西支部主催の「テクニカルセミナー/空間情報話題交換会」に継続的に参加し, 学んだ最新技術動向をその都度授業内容にフィードバックした。</li> </ul> </li> <li>◆ 校長顕彰などの受賞                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携活動など社会貢献において顕著な実績が認められ表彰された (平成 28 年 3 月, 平成 30 年 3 月)</li> </ul> </li> </ul>
<p>研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成 27~29 年度における研究業績                     <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学術論文執筆                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・西村直人, <u>山野高志</u>: 建設プロジェクト計画初期段階における簡易 CG モデル生成手法の開発, 日本高専学会誌, Vol.20, No.3, pp.61-66, 2015.</li> </ul> </li> <li>■ 国際会議での発表                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ryu Izutsu and <u>Takashi Yamano</u>: Three Dimensional Urban Modeling for Landscape Analysis in Railway Overpass Project, Proceedings of the 15th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management (CUPUM2015), 36401.pdf, 2017.</li> <li>・Naoto Nishimura and <u>Takashi Yamano</u>: STUDY ON GENERATING BASIC 3D MODEL FOR COUNTINUOUS SUPPORT TO LONG-TERM URBAN PROJECT, Proceedings of the 14th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management (CUPUM2015), 407.pdf, 2015.</li> <li>・Shin' nosuke Tani and <u>Takashi Yamano</u>: STUDY ON INFLUENCE OF OUTDOOR ADVERTISEMENT ON RIVER SPACE BY USING EYE TRAKING SYSTEM, Proceedings of the 14th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management (CUPUM2015), 408.pdf, 2015.</li> </ul> </li> <li>■ 学術講演会での発表                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・井筒竜宇, <u>山野高志</u>: 三次元広域都市モデルの作成と景観要素の定量化における活用に関する研究, 平成 29 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集,</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

	<p>IV-31 (0431.pdf), 2017 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 西村直人, <u>山野高志</u> : 建設プロジェクト長期支援に向けた CG のベースモデル生成手法の開発, 平成 27 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 0438.pdf, 2015</li> <li>• 谷伸之介, <u>山野高志</u> : 視線追跡装置を用いた水辺空間における屋外広告物の影響に関する研究, 平成 27 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 0435.pdf, 2015 他 1 件</li> </ul> <p>◆ 特許 該当なし</p> <p>◆ 平成 27~29 年度における外部資金獲得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 継続的な景観デザイン支援に向けた三次元モデル作成手法の構築, 科研費基盤研究 (C), 研究代表者 (単独)</li> </ul> <p>◆ 学会などでの受賞 該当なし</p>
社会貢献	<p>◆ 平成 27~29 年度における公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「姉妹都市交流に参加するにあたっての心構え」, 寝屋川市国際交流協会, 平成 27 年 8 月</li> <li>• 「はじめての海外渡航講座」, 寝屋川市, 平成 28 年 6 月</li> </ul> <p>◆ 平成 27~29 年度における学協会等の委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 寝屋川市景観審議会 副会長 (平成 22 年度から)</li> <li>• 寝屋川市サクラプロジェクト推進協議会委員 (平成 28 年度から)</li> <li>• 寝屋川市桜ライトアップ事業者選定委員会 委員 (平成 28 年度)</li> <li>• 寝屋川市緑の基本計画審議会 副会長 (平成 29 年度から)</li> <li>• 日本写真測量学会関西支部役員 (会計担当幹事, 平成 22 年度から)</li> </ul> <p>◆ 特記すべき社会貢献の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 寝屋川市国際交流協会常任理事として, 寝屋川市の姉妹都市であるアメリカ・ニューポートニュース市への訪問団団長を務め, 寝屋川市在住在職の 16 名を 2 週間に渡り引率し, 国際交流に貢献した (平成 29 年 3 月).</li> </ul>